

住宅の耐震改修における低コスト工法の概要とコスト比較

○低コスト工法の特徴

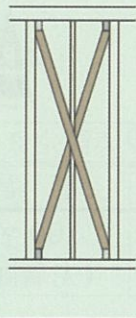
- ・既存の壁や床、天井を壊さずに補強出来る。
- ・外壁撤去を行わずに外部から補強出来る。

⇒低コスト工法を採用すると、既存の壁や床等の復旧工事が不要となり、工事費や工期が縮減出来る。

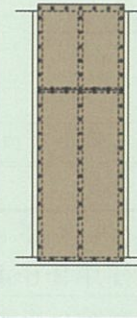
壁全体で補強

(一般的な工法)

① 筋かいで補強



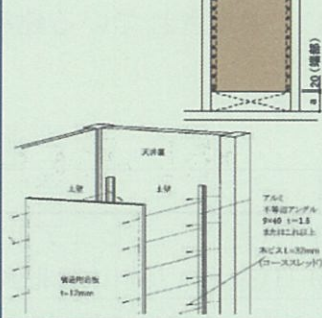
② 構造用合板で補強



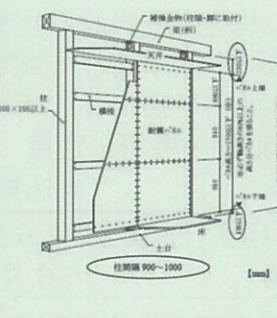
低コスト工法の一例

壁の一部で補強(床や天井を壊さずに施工)

③ 床と天井の間を構造用合板とL型アルミ型材で補強



④ 床と天井の間を火山性ガラス質複層板で補強



外から壁を補強

⑤ 外部から金属のブレースで補強



(参考)一般的な工法である「①筋かいで補強」とのコスト比較

①	②	③	④	⑤
100%	73%	37%	69%	46%

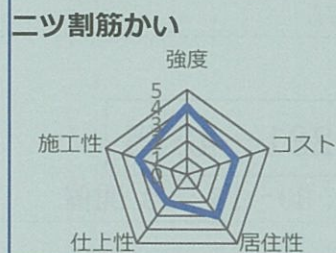
木造住宅低コスト耐震補強の手引き(愛知建築地震災害軽減システム研究協議会)より作成

一般的な工法でも、押入などの仕上げを気にしないでよい箇所を中心に補強するなど、合理的な設計によっても、工事費を抑えることが可能！

住宅の耐震改修の補強方法の比較

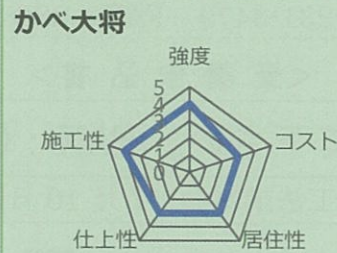
壁全体で補強

一般的な工法



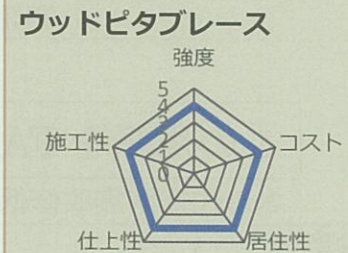
壁の一部で補強

構造用合板(上下あき)



外部から壁を補強

アイワン



点数が大きいほうが評価が高い！